

議会だより

第3回臨時会

工事請負契約の締結等

平成29年第3回臨時会が、10月27日
招集されました。
案件の概要は次のとおりです。

契約案件

◆飯貝地区定住促進住宅新築工事請負契約の締結について (可決)

- ・ 契約方法 一般競争入札
- ・ 契約金額 89,424,000円
- ・ 契約の相手方

株式会社上田工務店
代表取締役 上田 秀幸

(吉野町宮滝)

◆(旧)国栖小学校体育館及び(旧)国栖幼稚園耐震補強・大規模改修工事請負契約の締結について (可決)

- ・ 工期 平成30年3月26日(竣工)
- ・ 契約方法 一般競争入札
- ・ 契約金額 170,640,000円
- ・ 契約の相手方

株式会社上田工務店
代表取締役 上田 秀幸

(吉野町宮滝)

◆動産の買入に係る財産の取得について (可決)

- ・ 取得品目 消防ポンプ自動車
CD・1型 1台
- ・ 配置場所 吉野第6分団(飯貝)
- ・ 契約方法 指名競争入札
- ・ 取得金額 19,764,000円

- ・ 契約の相手方
小川ポンプ工業株式会社
代表取締役 小河 元

(大阪府住吉区万代東)
納入期日 平成30年3月31日まで

予算案件

◆専決処分

平成29年度吉野町一般会計補正予算(第4号) (承認)

- ・ 補正規模 1,250万円
- ・ 予算総額 59億9,303万4千円
- ・ 歳入 ▼衆議院議員総選挙委託金(1,250万円)
- ・ 歳出 ▼衆議院議員総選挙費(1,250万円)

町議会産業建設委員会 災害発生現場視察

町議会産業建設委員会が10月31日に
台風21号の豪雨により発生した町道の
崩土、県道沿いの崩土や路面クラックの
災害現場4箇所を視察が行われました。



視察地:香東



視察地:榎井

各現場では、町の担当者から災害発生時の状況、その後の経過や国や県の動向も含めた今後の対応について説明を受けました。

各委員からは、災害発生や避難情報、迂回路の町民への周知等の初期対応、復旧の見込み時期や再発防止対策等の質問がありました。

最後に西澤委員長より、「今後、町議会では役場と連携し、災害復旧に全力をあげて取り組む所存である。」との総括があり視察を終えました。

○視察場所

- ・ 吉野山 県道桜井吉野線
(通称吉野山観光車道)
- ・ 香東 町道中竜門94号線【崩土】
- ・ 南国栖 県道国栖大滝線沿い
- ・ 榎井 国道169号線沿い【崩土】

台風21号襲来、吉野町に被害をもたらす

10月22日深夜から23日未明にかけて、超大型で非常に強い台風21号が近畿地方に接近し、町内に大雨による大きな被害をもたらしました。

河川は増水し、上市橋の水位は、午後10時に氾濫危険水位の6.1mを越え、午後11時には、6.36mを記録しました。

特に大きな爪痕を残したのが、榎井の国道169号線沿いの崩土で、長さ約100m以上、幅50mに渡りました。土石流が国道沿いに建つ薬師寺を押しつぶし、土砂や倒木が国道をふさぎ、国道の下に位置する民家まで土砂が流れ込みました。

関係者によると、22日午後6時50分頃、大きな衝撃音とともに山が崩れ出したとのことですが、近隣住民は自主避難し、無事でした。

11月13日現在、国道は通行止め、復旧の見込みは未定です。また道路・河川・農地等合わせて224箇所被害が確認されています。



榎井:169号線沿い被災現場
画像提供:Winds Pro

～木とふれあい、木に学び、木と生きる～

小学校『木育授業』

*『木育授業』とは

両小学校で図工や生活科の時間に吉野材や自然物を使った木工をする授業です。この授業は子どもたちが吉野材にふれ、木の特徴や、吉野の木の歴史などを学び、木と自分たちの生活のつながりについて考えることを目指しています。(今年度は吉野小学校1・3・5年生、吉野北小学校1・4・6年生で行われます。)



今年度より両小学校で始まった『木育授業』(図工・生活科)。第1回目は、吉野小学校3年生の図工時間に行われました。

金づちを使って釘を打ち、自分のイメージしたものを作る『トントン ドンドン くぎうち名人』という授業が行われました。地域おこし協力隊木工・木育担当が、材料の準備や当日の製作をサポートしました。

初めに担任の先生から金づちの正しい使い方を聞き、色々な釘の打ち方を練習し、必要な形の材料を集めて自分の作りたいものを作りました。釘を打ちながら「ひらめいた!」と言って、ドンドン面白い発想で作っていき、友達同士で手伝ったりする様子も見られました。

この授業を通して子どもたちは、木の匂いがそれぞれ違うことや、様々な木目があること、小さい木を太い釘で打つと割れてしまうこと、やわらかくて打ちやすい木と少しかたい木があることなど木の特徴を、作品を作る中でたくさん気づいたようです。

木で工作をすることの楽しさを知り、また作りたいと笑顔で応えてくれる子どもたち。これから、他の学年でも『木育授業』が始まります。この授業を通して、子どもたちが、少しずつ、ふるさと吉野の木に親しんでくれることを願っています。



にこにこセミナー「木育」

吉野町教育委員会では、子どもたちがお互いに学びあい助けあいながら、ものづくりの楽しさを知ってもらうことを目的に、にこにこセミナーを開催しています。その中で「木育」を大きなテーマとして、吉野の木に子どもたちが親しんでもらえるような内容のセミナーに取り組んでいます。

昨年は、「木製カブトムシづくり」や「木製コマづくり」を行い、今年は「木製ネームプレートづくり」のセミナーを開催しました。今後も、子どもたちが吉野の木にふれ、愛着を持ってもらえるようににこにこセミナーを企画します。



第42回吉野町民文化祭

11月3日(祝・金)、4日(土)の2日間、第42回町民文化祭(主催:吉野町文化協会)が吉野中央公民館で開催され、書道や写真、手芸などの部門で、町民の方々の力作が展示されました。

木工工芸部門では、木のまち吉野にふさわしい作品が展示され、訪れた方々は、作者のアイデアを楽しみながら作品の感想を語り合っていました。また、子どもたちの豊かな発想で作られた吉中友灯工房の作品や、小学生の木工作品などが展示され、木の温かさを感じることができる町民文化祭でした。



木の豆知識

いちねんりん
【一年輪】…年輪は色の濃い線のところから、隣の濃い線の手前までが一年間で成長した年輪になります。

ばんざい ふゆめ
【晩材(冬目)】
6月～8月にかけて成長する部材。色が濃い。早材よりもかたい。

そうざい なつめ
【早材(夏目)】
3月～6月にかけて成長する部材。色が淡い。晩材よりも柔らかい。



樹木は樹皮の内側にある形成層という部分で細胞分裂をして生長します。古い部分は中心部分、新しい部分は外側にあります。



●杉の木は、晩材と早材の境界がはっきりとわかりやすいですが、わかりにくい木もあります。

引用:『吉野林業絵ことばブック～森から野まで～』
(編集・制作「奈良の木づかい運動実行委員会」)

【お問い合わせ】教育委員会事務局 TEL: 32-0190